

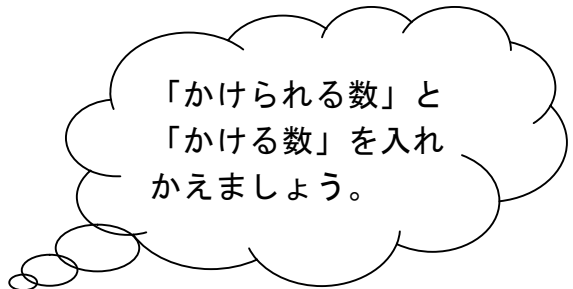
1 いろいろなきまりを使って、 $9 \times 6$ の計算をしました。

にあてはまる数を書きましょう。

(1)  $9 \times 6 = 9 \times 5 + \square = \square$

(2)  $9 \times 6 = 9 \times 7 - \square = \square$

(3)  $9 \times 6 = \square \times \square = \square$



2  にあてはまる数を書きましょう。

(1)  $7 \times 6$    
 $\begin{array}{l} 2 \times 6 = \square \\ \square \times 6 = \square \end{array}$

(2)  $9 \times 4$    
 $\begin{array}{l} 3 \times 4 = \square \\ \square \times 4 = \square \end{array}$

あわせて

あわせて

(3)  $3 \times 8$    
 $\begin{array}{l} 3 \times 5 = \square \\ 3 \times \square = \square \end{array}$

(4)  $4 \times 6$    
 $\begin{array}{l} 4 \times 2 = \square \\ 4 \times \square = \square \end{array}$

あわせて

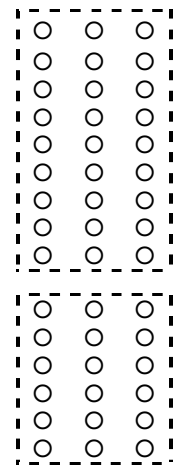
あわせて

3 右の図のように考えて、 $15 \times 3$ の答えをもとめました。

下の式の  にあてはまる数を書きましょう。

(式)  $15 \times 3$    
 $\begin{array}{l} \square \times \square = \square \\ \square \times \square = \square \end{array}$

あわせて



4 答えが0になるかけ算の式を、すべて記号でえらびましょう。

- ア  $4 \times 0$     イ  $0 \times 0$     ウ  $1 \times 1$     エ  $0 \times 6$

答え \_\_\_\_\_

小3 算数「九九の表とかけ算」解答・解説

- 1 (1)  $9 \times 6 = 9 \times 5 + \boxed{9} = \boxed{54}$   
 (2)  $9 \times 6 = 9 \times 7 - \boxed{9} = \boxed{54}$   
 (3)  $9 \times 6 = \boxed{6} \times \boxed{9} = \boxed{54}$

【解説】

(1)(2) かけ算では、かける数が1ふえると、答えは、かけられる数だけ大きくなります。また、かける数が1へると、答えは、かけられる数だけ小さくなります。  
 (3) かけ算では、かけられる数とかける数を入れかえて計算しても、答えは同じになります。

2 (1)  $7 \times 6$   $\begin{cases} 2 \times 6 = \boxed{12} \\ \boxed{5} \times 6 = \boxed{30} \\ \hline \text{あわせて} \boxed{42} \end{cases}$

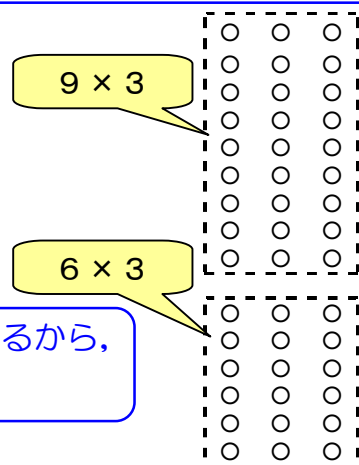
(2)  $9 \times 4$   $\begin{cases} 3 \times 4 = \boxed{12} \\ \boxed{6} \times 4 = \boxed{24} \\ \hline \text{あわせて} \boxed{36} \end{cases}$

(3)  $3 \times 8$   $\begin{cases} 3 \times 5 = \boxed{15} \\ 3 \times \boxed{3} = \boxed{9} \\ \hline \text{あわせて} \boxed{24} \end{cases}$

(4)  $4 \times 6$   $\begin{cases} 4 \times 2 = \boxed{8} \\ 4 \times 4 = \boxed{16} \\ \hline \text{あわせて} \boxed{24} \end{cases}$

【解説】 かけ算では、かけられる数やかける数を分けて計算しても、答えは同じになります。

3 (式)  $15 \times 3$   $\begin{cases} \boxed{9} \times \boxed{3} = \boxed{27} \\ \boxed{6} \times \boxed{3} = \boxed{18} \\ \hline \text{あわせて} \boxed{45} \end{cases}$



【解説】 図では、15を9と6に分けて考えているから、9のだんと6のだんを使って計算します。

- 4 (ア) (イ) (エ)

【解説】 どんな数に0をかけても、また0にどんな数をかけても、答えは0です。